

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2026 年 7 月 3 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	菱中建設株式会社
所 在 地	〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 番地 6 札幌小暮ビル 4F
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 山崎 啓二
担 当 者 連 絡 先	電 話：0144-32-2140
	メー ル：sawamukai@hisinaka.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.hisinaka.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は明治 41 年に創業した総合建設業者であり、北海道と宮城県を中心に、港湾工事を含めた土木工事、建築工事に携わってきました。 今後も、港湾の持続的な発展に貢献するため、SDGs の取り組みを推進してまいります。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	海洋保全の一環として、海の保全・環境保持活動の実施	海岸清掃等活動を年 1 回以上実施し、毎年継続
□環境 ✓社会 ✓経済	有給休暇取得率向上	有給休暇率 【2025 年度】60%→【目標】67%
□環境 ✓社会 □経済	女性も活躍する職場環境整備	女性技術者数 【2025 年度】0 名→【目標】3 名

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	平等に教育や研修の機会を設けている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	「ハラスメント防止宣言」を宣言し、体制を構築している。定期的なハラスメント防止研修を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	北海道働き方改革推進企業認定制度において、ブロンズ認定を受け、継続的に長時間労働の防止に取り組んでいる。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	平等に就業環境を整え、相談窓口を設けている。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生管理本部を設置し、安全衛生委員会を月1回開催、工事毎に施工検討会やパトロールを実施し、労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8.5									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年に1度ストレスチェックを実施し、労働者の健康状況を把握し、アフターケアを行っている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づき一般事業主行動計画を策定し、環境整備を行っている。また、高年齢者の継続雇用を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	資格取得やスキル習得のための費用を負担することにより、社員に対して能力開発や教育訓練の機会を積極的に提供している。				4	5.5			8.5	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	「人事考課規程」に基づき、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	「健康事業所宣言」を行い、定期健康診断等により従業員の健康管理に取り組んでいる。			3					8.5									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	産業廃棄物の適正な処分を行い、再生利用の推進に取り組んでいる。												12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	「ISO14001」を取得し、「さっぽろエコメンバー」にも登録している。							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	北海道グリーン・ビズ認定制度「優良な取組」部門における「ゼロカーボン・チャレンジャー」に登録している。							7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	工事に取り掛かる際、現場状況を調査し施工検討会にて工事関係者に周知徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	工事に取り掛かる際、現場状況を調査し施工検討会にて関係者に周知徹底している。															15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	「ISO14001」を取得している。			3.9			6	7.3					12.4 12.5	13.3	14.1	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページ等により開示している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	「ISO9001」を取得している。また、工事毎に施工検討会を行い、製品・サービスの安全性を確保を行っている。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	「ISO9001」を取得し、それに基づき仕組みを構築している。（北海道開発局 i-con奨励賞2023受賞）									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	環境に配慮した企業活動を行い、社会課題を解決するインフラの整備に取り組んでいる。	1		3			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	地域住民に与える影響（振動・騒音他）や地域環境を十分に調査し、施工している。									9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	近隣市町村への寄付（企業版ふるさと納税他）や、清掃活動等を行っている。また工事現場周辺での清掃や整備を積極的に行っている。											11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

